南相木村 ハザードマップ①

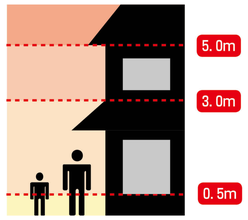


凡　例（浸水想定区域）

浸水した場合に想定される水深

- 20.0m以上の区域
- 10.0～20.0m未満の区域
- 5.0～10.0m未満の区域
- 3.0～5.0m未満の区域
- 0.5～3.0m未満の区域
- 0.5m未満の区域

浸水の深さの目安



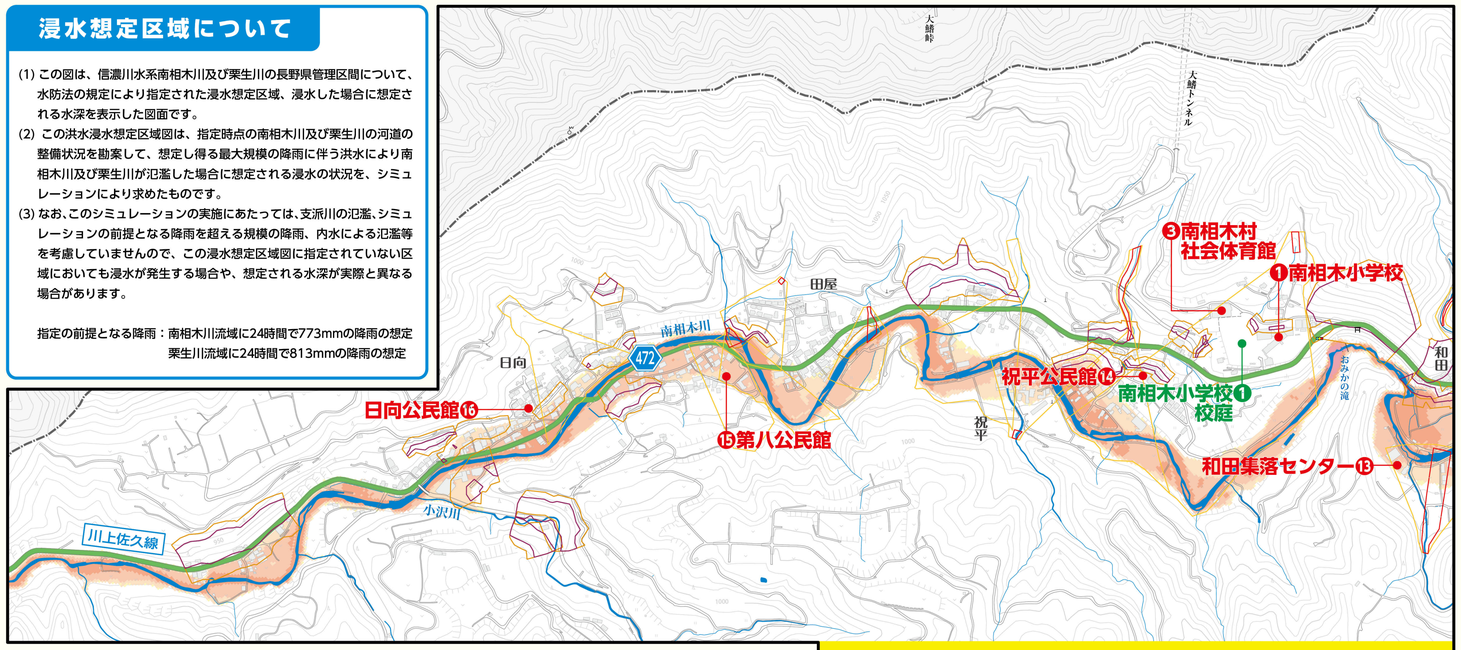
浸水想定区域について

(1) この図は、信濃川水系南相木川及び栗生川の長野県管理区間について、水防法の規定により指定された浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

(2) この洪水浸水想定区域図は、指定時点の南相木川及び栗生川の河道の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により南相木川及び栗生川が氾濫した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより求めたものです。

(3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支派川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域図に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際と異なる場合があります。

指定の前提となる降雨：南相木川流域に24時間で773mmの降雨の想定
栗生川流域に24時間で813mmの降雨の想定



ハザードマップ❶　0 100m 200m 300m 400m 500m　1/7,000

避難所リスト

指定緊急避難場所

番号	施設名	所在地	収容可能人数
❶	南相木小学校校庭	南相木村 2904	2,000 人
❷	南相木村総合グラウンド	南相木村 5418	2,000 人
❸	南相木村公民館駐車場	南相木村 4435	400 人
❹	南相木村村営駐車場	南相木村 3516-1	200 人
❺	南相木村立原駐車場	南相木村鳶の木	1,300 人
❻	三川区民広場	南相木村 5872-2	200 人
❼	立原区民広場	南相木村 6352-10	100 人
❽	栗生川区民広場	南相木村 5439	100 人
❾	地域ふれあい交流館　工房あいき駐車場	南相木村 4500	300 人

指定避難所

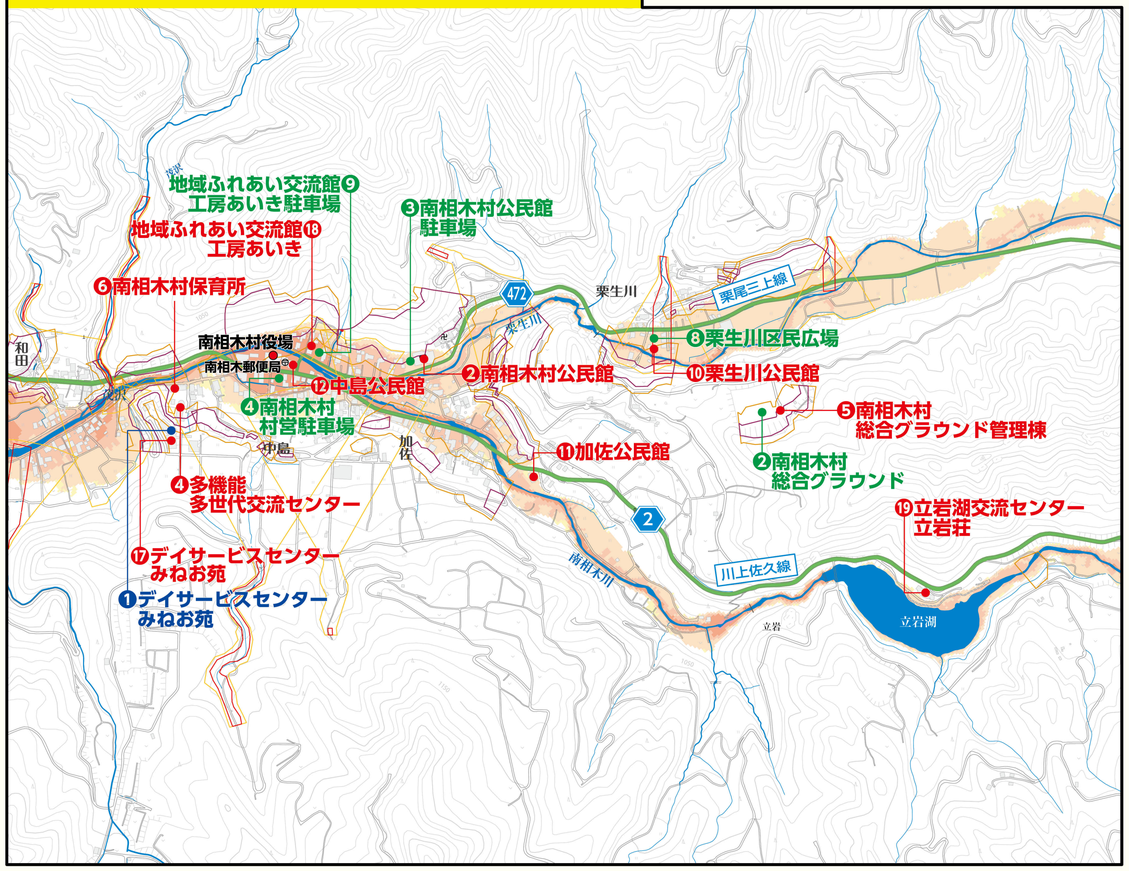
番号	施設名	所在地	収容可能人数
❶	南相木小学校	南相木村 2904	1,500 人
❷	南相木村公民館	南相木村 4435	300 人
❸	南相木村社会体育館	南相木村 2858-1	300 人
❹	多機能多世代交流センター	南相木村 3498-1	80 人
❺	南相木村総合グラウンド管理棟	南相木村 5418	20 人
❻	南相木村保育所	南相木村 3478	70 人
❼	三川公民館	南相木村 5872-2	50 人
❽	立原公民館	南相木村 6352-129	20 人
❾	栗生公民館	南相木村 5005	20 人
❿	栗生川公民館	南相木村 4663-1	20 人
⓫	加佐公民館	南相木村 4342-1	50 人
⓬	中島公民館	南相木村 3526-1	80 人
⓭	和田集落センター	南相木村 3291	50 人
⓮	祝平公民館	南相木村 2286-2	50 人
⓯	第八公民館	南相木村 1230-3	50 人
⓰	日向公民館	南相木村 1064-1	50 人
⓱	デイサービスセンター　みねお苑	南相木村 3781-162	100 人
⓲	地域ふれあい交流館　工房あいき	南相木村 4500	20 人
⓳	立岩湖交流センター　立岩荘	南相木村 5567-1	100 人
⓴	南相木温泉　滝見の湯	南相木村 5633-1	100 人

福祉避難所

番号	施設名	所在地	収容可能人数
❶	デイサービスセンター　みねお苑	南相木村 3781-162	100 人

村では災害の状況等に応じて避難所を指定します。
必ず防災無線を聞いていただき、指定された避難所への避難をお願いします。

ハザードマップ❷　0 100m 200m 300m 400m 500m　1/7,000



土砂災害について

区分	前ぶれ	凡例
崖崩れ 地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、急激に斜面が崩れ落ちる現象。 突発的かつ急速に起こることが多いのが特徴です。	●小石がパラパラと落ちてくる。 ●崖から水が湧いてくる。 ●崖にひび割れができる。	土砂災害特別警戒区域(※2) 土砂災害警戒区域(※1)
土石流 土石と水が一体となって流れ落ちる現象。 昔から「山津波」や「鉄砲水」といっておそれられています。	●山鳴りや立木の裂けるような音、ふだん聞きなれない大きな音がする。 ●雨が降り続いているのに、川の水が急に減り始める。 ●川の水が濁ったり、流木が見られる。	土砂災害警戒区域(※1) 土砂災害特別警戒区域(※2)
地すべり すべりやすい地層を境に、その上の土がそっくり動き出す現象。	●地面にひび割れができる。 ●地面の一部が陥没したりする。 ●沢や井戸の水が濁る。 ●崖や斜面から水が噴き出す。	土砂災害警戒区域(※1)

※1　土砂災害警戒区域（イエローゾーン）：土砂災害により住民に危険が生じるおそれがある区域。
※2　土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）：土砂災害警戒区域のうち建築物に損壊が生じ住民に著しい危害が生じるおそれがある区域。

5段階の警戒レベル

警戒レベルは、水害や土砂災害に備えて住民がとるべき行動をわかりやすくお知らせするために5段階にレベル分けしたもので、村が避難情報と合わせて出す情報です。
あらかじめ、ハザードマップ等で自宅周辺の災害リスクを把握しておき、各警戒レベルに沿った「最善の行動」をとれるように準備しておきましょう。

警戒レベル	住民がとるべき行動	行動を促す情報	防災気象情報（警戒レベル相当）	キキクル
5	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保※1 （村発令）	大雨特別警報 氾濫発生情報 [暴風特別警報※2]	災害切迫
	～警戒レベル４までに必ず避難～			
4	危険な場所から全員避難	避難指示 （村発令）	土砂災害警戒情報 氾濫危険情報	危険
3	危険な場所から高齢者等は避難 ・避難に時間のかかる要配慮者（高齢者・障がい者・乳幼児等）とその支援者は避難 ・高齢者等以外の人も危険を感じたら自主的に避難	高齢者等避難 （村発令）	大雨警報 洪水警報 氾濫警戒情報 [暴風警報※2]	警戒
2	自分の避難行動を確認	大雨注意報 洪水注意報 （気象庁発表）	氾濫注意情報 [強風注意報※2]	注意
1	災害への心構えを高める	早期注意情報 （警報級の可能性） （気象庁発表）		

※1　レベル５は村が災害の状況を確実に把握できるわけではないことから、必ず発令されるものではありません。
※2　暴風特別警報、暴風警報、強風注意報については、参考として記載しています。